

医学史小ばなし Day by day : 切手で医学散歩 100選

著者名：金山 知新

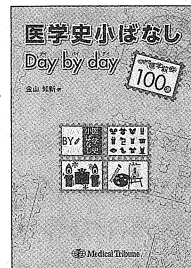
出版者：東京：メディカルトリビューン

出版年：2011年

頁 数：222p.

価 格：2,940円

ISBN：9784895893633



普段医学史はなかなか読む機会がないかもしれない。いざ読もうと思っても、目次をただで断念した人もいるのではないだろうか。しかし本書は、そんな医療に関わりがない人でも、気軽に手に取れる本である。元々は、650回を超えて週刊医学新聞『Medical Tribune』に掲載され、その中から100本を厳選してまとめられたものだそうである。その為、一つ一つがちょうど読みやすい長さになっている。

本書は、医学史の堅苦しいイメージを見事に崩している。それは、何と言っても切手と共に、医学に纏わる出来事や人物について触れているからだろう。珍しい切手が多く、見ているだけでも楽しい。その上、医学のちょっとした知識まで得られるのだから、一冊で二度おいしい本である。

構成も工夫されている。干支・記念の日・絵画という大きく3つに分けられているのである。医学との関わりが一見わからないが、そこに一層興味を引き付けられるように思う。また、知っている人物や用語が豊富である。例えば、聴診器やCTスキャナーなど、現在の医療でもなじみのある医療器具が出てくる。聴診器は、丸めた紙が心音をよく伝えることを発見したのが始まりなど、意外な起源を知ることができる。現在の発展した医療の裏には、こうした人々の苦労、様々な出来事があることを切に感じさせてくれる。

今こそ、医療に直接貢献できなくても、何か協力できることがあるのではないかと考えることが求められているように思う。本書にあるような記念の日を覚えておくこともその一つなのではないだろうか。2011年東日本大震災が起き、多くの人の防災の日に対する意識が高まったように、世界献血者デーや乳がん月間など、他の日に対しても高い意識を持つことで、できることが見えてくるかもしれない。その為の第一歩として本書を読むことから始めてみてはいかがだろうか。

(京都大学医学図書館 竹守真由美)